

白河市

令和5年度 当初予算

令和5年2月17日

令和5年度当初予算(案)

予算総額
(一般会計)



291億5,000万円

(前年度比 +4.7億円・+1.6%)

【歳入】 291億5,000万円 (+1.6%)

一般財源 総額
184億7,100万円 (+0.5%)

1 市 税 91億7,714万円
(+1億941万円・+1.2%)

2 地方交付税等 70億8,223万円
(△1億3,698万円・△1.9%)

うち地方交付税 ① **67億円**
(+1.5%)

臨時財政対策債 ② **2億円**
(△50.0%)

※【再掲】実質的な交付税（上記①+②の計）
69億円 (△1.4%)

3 各種交付金 22億1,163万円
(+5.9%)

特定財源 総額
106億7,900万円 (+3.6%)

4 国県支出金 61億8,851万円
(△6.9%)

5 繰入金 11億5,559万円
(+18.2%)

うち財政調整基金繰入額 **9億円**
(+20.0%)

6 市 債 22億9,400万円
※臨時財政対策債を除く (+28.9%)

7 その他 10億4,090万円
(+15.6%)

【歳出】

291億5,000万円 (+1.6%)

1 義務的経費 **133億2,785万円**
(△0.7%)

人件費 49億1,418万円
(△7,457万円・△1.5%)
扶助費 52億311万円
(+2,268万円・+0.4%)
公債費 32億1,056万円
(△4,457万円・△1.4%)

2 投資的経費 **38億568万円**
(+1.3%)

学校整備 13億2,730万円
道路・街路整備 12億6,509万円
うち しらかわセーフロード事業 2億円

3 一般行政経費 **120億1,647万円**
(+4.5%)

物価高騰による光熱水費・燃料費の増
5億7,041万円 ⇒ 9億1,846万円
3億4,805万円

白河地方広域市町村圏整備組合負担金
(ごみ・し尿処理、消防等) 15億3,955万円
下水道事業への支出 13億9,578万円
指定管理業務委託料 5億2,209万円
(コミネス、きつねうち温泉他)
ワクチン接種事業 3億172万円
など

未来へつなぐ5つの重点施策

1 住みたくなるまち ~快適にすごす~

2 暮らしやすいまち ~心豊かにすごす~

3 活気のあるまち ~いきいきと働く~

4 魅力あるまち ~共に楽しむ~

5 便利で環境に優しいまち ~DX・GX~

私らしく、
あなたらしく
~身近な幸せが実感
できるまちづくり~





住みたくなるまち ～快適にすごす～

新しい暮らしを始めたくなる、住み続けたくなるまちづくりを目指します。

結婚支援専門員の配置やサポーター制度の導入により「縁結び」を支援

新規 良縁めぐりあわせ応援事業 9,216千円

- 結婚相談やイベントの開催など市独自の相談体制を整備するため専門員を配置
- 身近な相談相手として、結婚サポーター（良縁あわせ隊）制度を導入し伴走型で支援
- 結婚斡旋報償金及び県マッチングアプリへの登録料を補助



〔結婚相談・支援〕

市内への移住・定住促進のための受入れ体制を整備

新規 表郷地域お試し住宅整備事業 9,392千円

- 東地域（H29～）、白河地域（R4～）に続き、表郷地域にお試し住宅を整備
- 実際に住み、暮らしを実感することで、移住後のミスマッチを防ぐ
- 公募により選定した住宅の畳替えや水回り等の改修を実施
- 利用期間は1週間以上4週間以内、料金は1週間あたり7千円



〔お試し住宅（東地域）〕

利用しやすい移動手段を確保するため、乗合タクシーや循環バスを運行

拡充 予約型乗合タクシー事業 10,067千円 拡充 循環バス運行事業 5,870千円

- 高齢者などの外出を支援するため、1乗車500円の予約型乗合タクシーを運行
運行地域：表郷・旗宿地域、大信地域、東地域、小田川地域、大沼地域
- 国道294号バイパス及び真舟地区を經由する新ルートでの運行開始



〔予約型乗合タクシー（東地域）〕



暮らしやすいまち ～心豊かにすごす～

赤ちゃんからお年寄りまで、安心して暮らせるよう事業を展開します。

子育て世帯の不安やヤングケアラー等の心身の負担軽減を図る

新規 白河っ子家事・育児サポート事業 5,609千円

- 家事・育児等の不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭を支援員が訪問し、不安や悩みを聞き、家事・育児等を支援



〔家事・育児等の支援〕

子どもの成長段階に応じた継続的な経済的支援により子育てを応援

新規 白河っ子小学校入学祝金支給事業 25,100千円

- 小学校入学時に経済的負担を軽減するため、5万円の入学祝金を支給



〔親子の交流・仲間づくり〕

未就学の乳幼児を持つ親と子が集い、交流や仲間づくりができる場所づくり

拡充 地域子育て支援拠点事業 1,680千円

- 未就学の乳幼児を持つ親子が気軽に集い、交流や仲間づくりができる場を既存の白河・表郷・大信地域に加え、新たに東地域に設置する



〔学校給食の費用負担軽減〕

学校給食の経済的負担を抑えるため、食材の物価高騰分について支援

拡充 給食費負担軽減事業 30,000千円

- 物価高騰に直面する子育て世帯を支援するため、食材価格上昇分を保護者負担ではなく市が負担する

月齢	妊娠期	乳児期										幼児期						学童期				
	妊娠	0か月	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	1歳0か月	1歳1か月	1歳3か月	1歳6か月	1歳9か月	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳
助成金制度・手続き	<p>妊娠時・出産時に5万円ずつ支給</p> <ul style="list-style-type: none"> ●母子健康手帳交付 ●妊産婦医療費助成 	<ul style="list-style-type: none"> ●多子世帯保育料軽減 (第2子半額・第3子無料) ●病児保育事業 										<ul style="list-style-type: none"> ★白河っ子すくすく応援クーポン券 ★白河っ子すくすく応援クーポン券 ★白河っ子すくすく応援クーポン券 ★白河っ子すくすく応援クーポン券 						<ul style="list-style-type: none"> ★小学校入学時に祝金を支給 ★給食費負担軽減 				
	<p>出産育児一時金の増額</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●出生届 ●リトルベビーハンドブック交付 ★子どもの国民健康保険税均等割減免 ●児童手当[0歳～中学校修了まで] ●こども医療費助成[0歳～18歳] ●子育て応援パスポート[0歳～18歳] ●未熟児養育医療給付[0歳～1歳未満] 										<ul style="list-style-type: none"> ●就学援助 ★第3子以降の給食費無償化 										
子育てサポート	白河っ子応援センター「ぽっかぽか」相談窓口										家事・育児サポート事業											
	白河市ファミリーサポートセンター					東地域に子育て広場を設置																
★は市独自事業	おひさまひろば		たんぽぽサロン			表郷・大信子育て広場			ホームスタート													
	予防接種										保育園						幼稚園		放課後児童クラブ			
											★ブックスタート						子どもの居場所づくり					



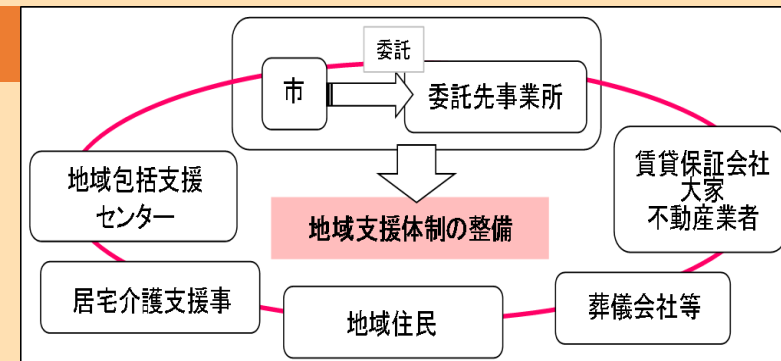
暮らしやすいまち ～心豊かにすごす～



高齢者が安心して暮らせるよう、転居や入所等を支援

新規 高齢者すまい・生活支援事業 1,750千円

- 身寄りのない高齢者等が住み慣れた地域で継続的に安心して暮らせるよう、転居や入所支援及び生活支援を実施



〔白河モデル〕

気軽に相談できる高齢者のための「あったかコールセンター」を開設

新規 あったかコールセンター事業 1,704千円

- 高齢者の孤立やフレイル（心身の活力や筋力の低下による虚弱）防止にも効果が期待できることから、気軽に相談できる窓口「あったかコールセンター」を開設
- 70歳以上の高齢者を対象



〔コールセンターの開設〕

健康な暮らしを維持するため、生活習慣病を予防

新規 血糖チェックで健康づくり事業 1,117千円

- 健診結果で血糖の項目が要指導の方を対象に、血糖値を測定できる小型センサーを装着してもらい、食事や運動などによる血糖値の変動をリアルタイムで確認
- 生活習慣改善の意識づけとそれによる行動の変容を図る
- 糖尿病の治療中でない方、スマートフォンを使用できる方が対象



〔アプリによる血糖チェック〕

活気のあるまち ～いきいきと働く～



働く意欲のわく環境を整え、産業の振興を図ります。

新たに進出する企業へのハード整備を支援

新規 工業の森・新白河A工区整備事業 151,540千円

- 令和4年9月にニプロファーマ株式会社・福島県・白河市の3者において、工業の森・新白河A工区への企業進出に関する協定を締結
- 令和5年度は道路・水道などのインフラ整備を実施
 - 【1】 造成工事 令和5年3月下旬～12月（※福島県実施）
 - 【2】 建築工事 令和6年5月～令和7年5月（予定）（※ニプロファーマ株式会社）
 - 【3】 操業開始 令和7年6月（予定）
 - 【4】 新規雇用 操業開始時：100人（最終的に200人を雇用見込）



〔工業の森・新白河A工区〕

中小ものづくり企業の生産性向上、労働力確保を支援

拡充 産業プラザ運営事業 37,605千円

- 中小ものづくり企業の生産性向上や事業マッチングの支援、説明会の実施
- 企業ガイドブックを刷新し、企業の魅力や採用情報を発信



〔産業プラザ〕

持続可能な農業に向けて、スマート農業を研究・実証

新規 白河の未来型農業研究事業 2,777千円

- 高齢化や担い手不足が進む中、先を見据え、本市の地理的条件や産品・営農の形態といった特性に適したスマート農業の機械化システムを調査研究
- 地域の状況分析、生産者との意見交換を行い、課題をとりまとめ対応策を検討



〔ドローンによる水稻防除〕



魅力あるまち ～共に楽しむ～

足元の資源に磨きをかけ、地域の魅力向上を図ります。

歴史的資源の保存・復元により価値を高める

継続 清水門復元整備事業 103,234千円

- 小峰城本丸へ至る要となる場所に位置し、場内で最大規模を誇った清水門について、「白河城御櫓絵図」に基づく復元整備を年次計画で実施
- 令和5年度は、復元工事に着手



〔清水門復元イメージ〕

白河駅前の環境を整備し、観光客の誘致を図る

新規 白河駅前ロータリーリノベーション事業 20,000千円

- 令和5年4月にJR白河駅舎の隣地に観光ステーションがオープン
- 観光ステーションを利用する観光客向けバスの受け入れを踏まえ、敷地内の配置転換と、舗装の補修を実施



〔白河駅前〕

歴史が息づく まちなかの回遊拠点をつくる

継続 勸工場跡地と旧脇本陣蔵座敷の空間整備事業 14,000千円

- 地域住民との協働による実証実験や計画検証を踏まえ、市民の憩いの場として、また街なか回遊拠点施設として実施設計を策定



〔現在の様子〕

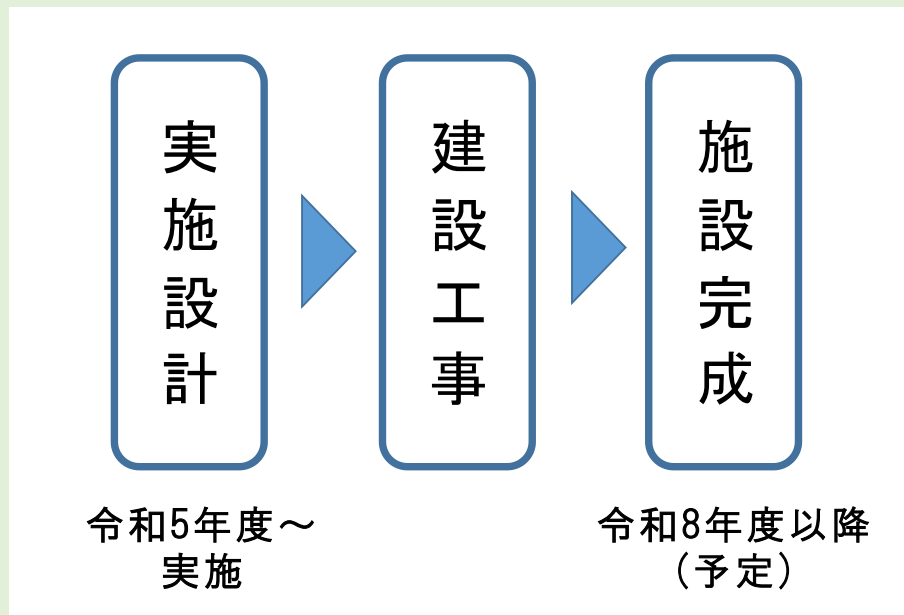
魅力あるまち ～共に楽しむ～



市民会館跡地に「健康増進」「子育て支援」「生きがいづくり」の施設を整備

継続 複合施設整備事業 90,808千円

- 미래の暮らしをつくり、豊かに住み続けられる「まち」の拠点として、行政・民間機能を併せ持つ複合施設を整備する
- 施設の活用方針として、今後本格的な少子高齢化社会を迎えるに当たり、市民が安心して生き生きと暮らし、幸福感を感じ取ることができるよう、健康増進や生きがいづくり、学び直しを支援する
- 令和5年度は実施設計と施設の管理運営計画を策定



〔複合施設外観イメージ〕



便利で環境に優しいまち ～DX・GX～



①デジタル化（DX）により誰もが便利で暮らしやすいまちを実現します。

どこにいても、行政相談や手続きができる環境を整備

新規 オンライン相談システム導入事業 7,552千円

- パソコン・スマートフォンを利用し、誰もが容易に行政サービスを利用することが出来る窓口の開設
- 相談から手続き完了までの一連の流れをオンラインでワンストップ完結



〔オンライン相談窓口〕

「情報格差」是正のためのスマートフォン教室の開催と体験機会の提供

拡充 デジタル・デバйд対策事業 2,447千円

- 高齢者向けの「スマホ教室」を通信事業者等と連携して実施
- 認知機能のチェックとトレーニングツールの導入



〔DX活用による認知機能チェック〕

マイナンバーカードの申請ができる環境の充実

拡充 社会保障・税番号制度導入事業（スマートカウンター導入）17,182千円

- 公共施設や商業施設に端末を設置し、オペレーターを通じオンラインによる申請を支援（スマートカウンター開設）
- 郵便局での申請受付を開始
- 高齢者や障がいのある方について、戸別訪問による申請事務を実施
- 本庁舎1階に申請・交付事務を行う特設窓口を設置（継続）
- 町内会や企業に出張して申請事務を実施（継続）



〔マイナンバー申請窓口〕

便利で環境に優しいまち ～DX・GX～



②環境負荷の軽減（GX）により、未来に繋がるまちづくりに取り組みます。

しらかわの未来を創るゼロ・カーボン・ミッション

新規 しらかわの未来を創るゼロ・カーボン・ミッション 152,932千円

食品ロス削減のためのマッチングサービス開始

- アプリを活用して商店と市民を結び、食材廃棄を削減する

EV（電気自動車）シェアリング事業

- 電気自動車を導入し、市の環境施策の広告塔としての役割に加え、土日祝日等の非稼働日にアプリを活用して市民や観光客へ貸し出す

ゼロカーボンドライブ推進補助金

- 走行時にCO₂を排出しない次世代自動車（燃料電池車・電気自動車）の購入に対する補助金の交付

公共施設の脱炭素化

- 公共施設へのLED照明導入と自家消費型太陽光発電及び蓄電池の導入

親子で参加する環境フォーラムの開催

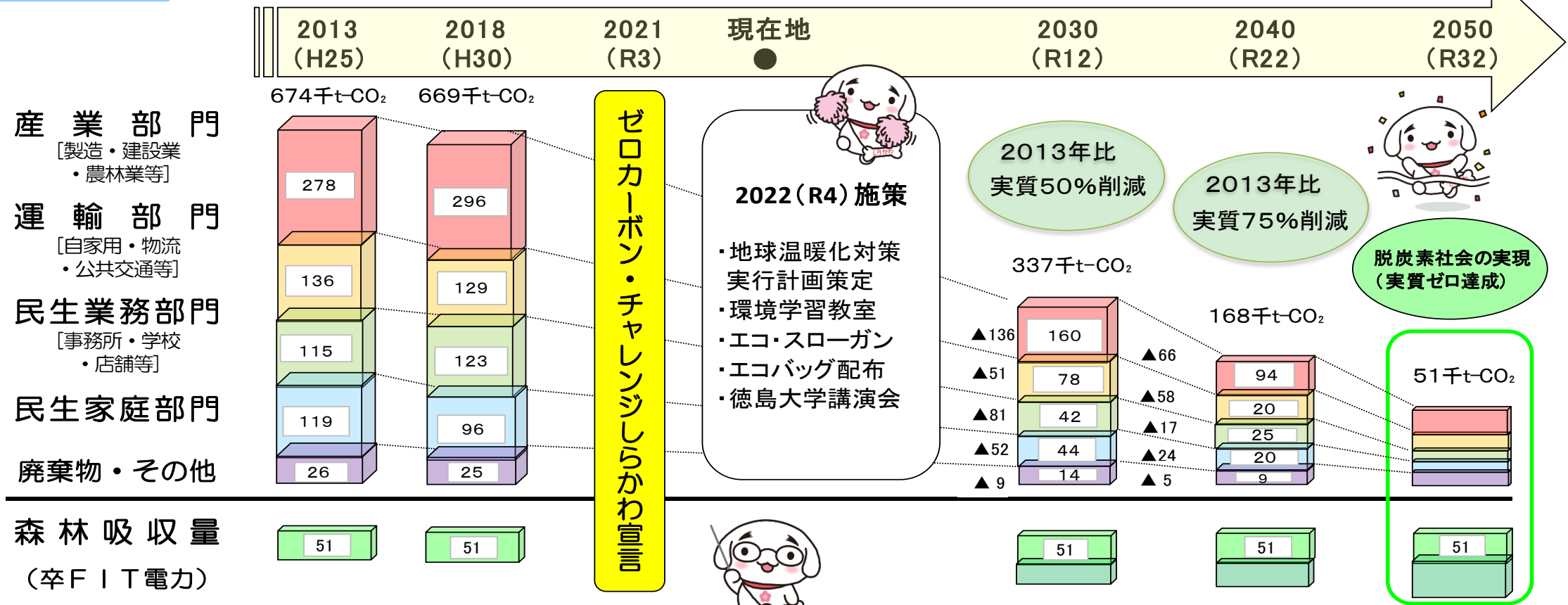
- 「見る・聞く・考える・体験する・働きかける」の五感に訴える環境フォーラム

水素部会支援補助金

- 「水素」について学び、新たなエネルギーとしての可能性を追求することで企業の脱炭素への取組みを促進

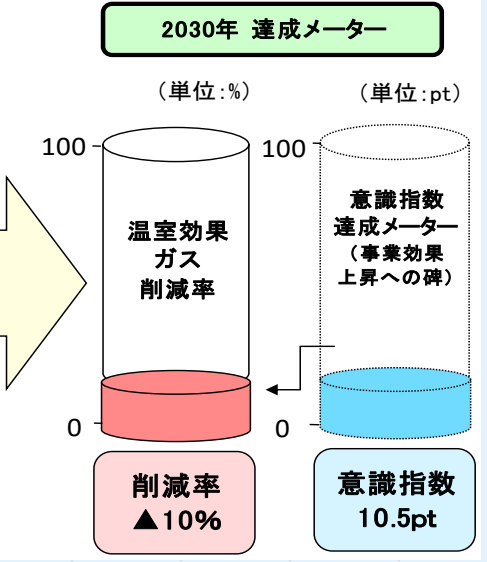


〔ゼロカーボン・ミッション スローガン〕



中期目標である2030年実質50%削減に向けて...

産業部門	運輸部門	民生業務部門	民生家庭部門	廃棄物・その他
2030年削減目標 ▲42.5%	2030年削減目標 ▲42.7%	2030年削減目標 ▲63.6%	2030年削減目標 ▲63.4%	2030年削減目標 ▲46.8%
R5事業により意識指数が 2.5pt上昇	R5事業により▲2% さらに意識指数が 0.4pt上昇	R5事業により▲4% さらに意識指数が 1.0pt上昇	R5事業により意識指数が 3.3pt上昇	R5事業により▲4% さらに意識指数が 3.3pt上昇
・水素部会支援補助金	・EVシェアリング事業 ・ゼロカーボンドライブ 推進補助金	・公共施設脱炭素化事業 (公共施設へのLED導入及 び太陽光設備導入)	・環境フォーラム ・環境学習教室 ・エコバッグ配布	・食品ロス削減マッチ ングサービス



※意識指数…脱炭素意識の浸透状況を表す単位として、2030年までに本市人口約6万人(100pt)を目指す。
 ※意識指数が上昇(浸透が拡大)することで、各事業の温室効果ガス削減効果も上昇することを見込む。



白河市一般会計予算額 291億5,000万円
(うち重点推進事業分 68億7,368万円)